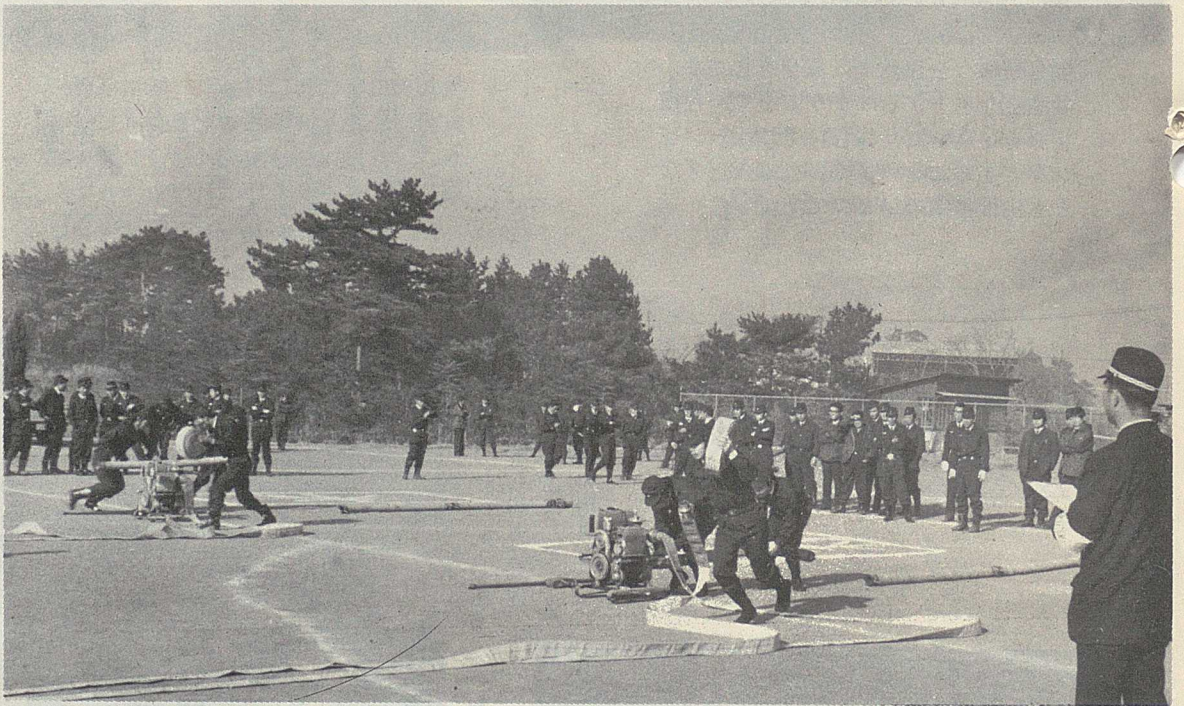


たまつり

坂本町報

町政日誌
〈12月〉
1日 防火パレード
4日 庁議
5日 消防秋季点検
5日 農振法促進協議会
10日 行方郡美術展
10日 衆議院議員総選挙
20日 農業委員会総会
28日 ご用納め

(毎月1回発行) 発行人 町長 坂本 常蔵
昭和38年1月23日 第三種郵便物認可
印刷所 さんゆう社印刷 定価10円



恒例の秋季点検

ポンプ操法競技も

本格的な火災シーズンに入りました。
消防の二大行事のひとつである秋季点検も五日に無事終わりました。

この日はポンプ操法競技もおこなわれ、消防団員の士気高まる一日でした。

操法競技は、自動車の部六チーム、小型動力ポンプの部二十三チーム、合計二十九チーム(町内全部)が参加し訓練の成果をきそいあいました。その結果はつぎのとおりとなりますがなかでも第一分団の活躍が注目されました。

▽自動車の部
優勝 第一分団第二部
(根古屋)

準優勝 本部

▽小型動力ポンプの部

優勝 第一分団第五部
(藤井)

準優勝 第一分団第四部
(西蓮寺)

三位 第一分団第一部
(荒宿)

四位 第三分団第二部
(加茂・横町)

五位 第三分団第七部
(泉)



29組が挙式 結婚式は神前と公民館式が挙げられますが29組のうち公民館式は11組でした。開館直後に挙式したカップルの中には2世が誕生し1年の歳月を示しています。



視察団も多く 近接町村にはない立派な公民館のため視察に訪れる人もかなりありました。

中央公民館



リーダーの養成 館内の事業をスムーズにすすめることのできるよう各種の講座などもひらいています。
(レクリエーション講座)



体力づくり 主催事業では、広範囲な活動がつづけられています。体力づくりもそのひとつで、写真は水泳訓練です。



館外研修 公民館では集会をしたり、映画会などをするばかりでなく、各種学級をひらいたり体育レクリエーションなどをおこないます。ハイキングなども主催事業のひとつです。

1年のあゆみ



施設を開放 公民館のなかには図書をはじめ調理室など利用していただきたい施設がたくさんあります。充分ご利用ください。

中央公民館が開館してからまる一年がすぎました。
この一年間に町民のひろばとして会議などで中央公民館を利用した人は一万八千人にのぼりました。
そこで、この一年間の利用状況を数字とともにみてみましょう。

利用者数

一万八千人に

十一月末日現在、玉造町の人口は一万三千八百四十五人です。
一方、この一年間に利用した人は一万八千人ですから、

数字のうえでは、全町民が、そしてそのほかに五千人の人が利用したことになります。
この人数は会議などの参加者ですから実際にはこの三倍くらいの人が出入りをしているわけになります。

設備・用具の活用を

公民館の施設を開放して、みなさんに自主的に利用していただくのも公民館の主な役割りのひとつです。

これは

- ・ 図書の貸し出し
- ・ 調理室の提供
- ・ 映写機、八ミリ、スライド録音テープなどの活用
- ・ スポーツ用具の貸し出し

などの例です。
このうち、図書は下記のとおり活用されているようです。
また、調理室も利用度が高く初期の目的を達成していますが、そのほかの用具などは

重宝な視聴覚室

一般的に会議や集会は、ほ

貸し出した図書は

千四百冊

現在図書室には二千三百冊の本が揃っていますが、これを利用する人が日に日にふえています。
これまでに館外に貸し出した図書は千四百四十冊になりました。

以外に利用されていないため活用するようおすすめしています。

とんどこの部屋でおこなわれています。

年末の郵便物は

こんな要領で

▽小包は十五日、年賀は二十
二日までに。
年末は小包が混雑します。
年末の小包は早目に出しま
しょう。また、年賀状は十
二月十五日から受けつけま
す。

▽郵便番号は正しくはつきり
郵便物は郵便番号による区
分等でスムーズに処理され
スピードアップされます。

▽郵便番号は住所の一部と考
え必ず記入してください。
▽あて名は正確に
大切な郵便を確実に届ける
ためにあて名は大きく正し
く、はつきりと書きましょ
う。
迷子郵便は全国で一日三十
二万通もあります。
▽小さいお子さまあての年賀
は親の名前を書きましょ
う。通常はがきを年賀として使

用するときは
表面の見やす
いところに、
「年賀」と朱
記しましょう。
▽転居して、ま
だ郵便局に転
居届を出して
いないかたは
早目に出しま
しょう。

ヨーロッパ みるみる記 その(1)

わたしは、このたび、玉造
町農業後継者クラブのかたや
この海外派遣についてお世話
してくださったかたのお骨お
たのです。
このヨーロッパ訪問は、各
国の実情を知るとともに、青
少年との交歓会などを持つこ
とにより、お互いの親善をは
かりながら国際的視野を広め
ることが目的でした。
期間は九月三十日から十月

三名の団員(うち女子七名)
から成りました。
出発前に、研修の成果を上
げるため班別研究、個人テー
マの二つを持ち報告書を出す
ことでした。
さらに事前研修として中央
青年の家、西山研修所で集い

庁内で出発式を
おこないました
羽田空港には
町長さんはじめ
青少年クラブ員
に見送られてD
C8型機は東京
をはなれました



茨城県中堅青年

海外派遣に参加して

緑ヶ丘 小沼 美枝

りにより青年海外派遣団の一
員となりました。
西ドイツ・スイス・イタリ
ア(ローマ)・フランス(パ
リ)のヨーロッパ五か国を訪
問する機会を得ることが出来

十三日までの二週間の予定で
した。
この海外派遣団は、茨大教
授の大宮先生を団長に、指導
員には県庁青少年課の安達先
生がなられ、わたしたち三十

ヨーロッパ訪問諸国の概要、
県の概要について三回の宿泊
研修がおこなわれました。
こうして、九月三十日。
随行報導、ツアーコンダクタ
ーが加わり総員三十八名は県

写真は
ローマの
バチカン宮殿
前で

出産

と



死亡



＜10月＞

◆おめでた

赤ちゃん

◆おくやみ

田山有美	保護者	続柄	部
須貝哲也	一男	三男	若海
藤枝伸之	健寿	長男	柄貝
永島英樹	哲夫	長男	羽生
金沢泰治	三千雄	長男	上生
岩本祥一	俊夫	長男	柄貝
笹目康夫	金司	三男	谷島
大輪勝典	千勝	長男	舟津
今泉久美子	久栄	長女	八木
内田美裕紀	成治	長女	小座
石田美津留	昇	二男	芹沢
宇ツ木はつ江	正	長女	上山
小林広明	征洋	長男	上浜
幡谷節子	房男	長女	沖洲
荒木田美智子	利夫	長女	上山
氏名	年令		
今泉 弘光	六一		部
磯山 敏光	二か月		羽
風間 敏衛	五五		津
小松崎 実	六七		生
高須 勇次	六四		落
宮崎 みつえ	四四		
代々城 繁	七一		
			下宿
			里